

# 高齢者から介護保険にプラス 年約6万円の保険料

5日開会の12月議会は最終日の11日に各議案の討論採決などが行なわれます。あわせて議長選も見込まれます。提案されているのは、全ての75歳以上を強制的に加入させ保険料を取り立てる「滋賀県後期高齢者医療広域連合」設立の規約、「甲良町サブセンター」設置にともなう条例制定などです。

## 育苗サブセンター

### 「目的」から「同和」を消す

「甲良町部落解放広域育苗センター」を指定管理者制度に移行するに当たり、「甲良町サブセンター」設置および管理に関する条例案」が提案されました。条例案では目的として(第一条)「…農業振興に務め、地域の活性化を図るため…」としています。提案説明によれば、以前の「センター」は事業主体が「運営委員会」、規約を昭和57年4月に制定。そして目的は「同和地区農家が部落解放への自覚と意欲をもち、農業経営の安定、育苗作業の省力化を図り、あわせて地区外農家の解放に対する理解を深め、部落の完全解放を図る」としていました。累積収益金の約千八百万円は町の一般会計に繰り入れます。今後、管理をシルバー人材センターに委ねる理由として、すでに8年間の実績を有するからなどと説明しました。

### しっかりと総括すべき

西澤議員は、条例制定を機に「同和特別」を脱却するのか、と確認したうえで、「実質は町営」と言いながらこの会計にも公開されないお金を管理していたことになると指摘。自ら定めた「目的」に沿って何がどのように達成されたか書面で明らかにすることなどを求めました。担当課長は、運営委員会の通帳で管理をしていたとし、今まで議会や監査委員の監視下ではなかったことが明らかになりました。「目的」の総括を書面で明らかにすることは言及しませんでした。

## 議長改選も見込み

宮本一起議長が5日、議会全員協議会において、今議会限りで議長職を退任すると表明したため、11日には議長選挙も行なわれる予定。



## 甲良民報

2006年12月10日 344号  
発行責任：日本共産党甲良町支部  
代表：西澤伸明 甲良町在土463  
Tel.Fax38-4949  
Eメール [info@jcp-nobuaki.com](mailto:info@jcp-nobuaki.com)  
のぶあきホームページ  
<http://www.jcp-nobuaki.com/>

## 一般質問 傍聴できます

…11日(月)=12月議会最終日…

最終日に行なわれる一般質問の順はつぎの通りです。議長選もからみ開始時間は不明ですが、西澤議員の番は午後からとなる見込みです。

西澤議員は教育基本法、平成19年度予算編成などについてたどします。

### 【一般質問の順序】

- 藤堂議員、
- 田中議員
- 西澤議員

## 75歳以上からも保険料を取る

医療改悪のひとつ

### 「滋賀県後期高齢者医療広域連合」

自民党公明党の重大な医療改悪のひとつ、75歳以上の高齢者を強制的に加入させる「広域連合」発足の規約が滋賀県下一斉に提案されています。

西澤議員は、「広域連合」と自治体の事務分担、全県で定数26の議会のあり方など6点にわたって質問。

「広域連合」は保険料金決定などを行い、町はその徴収などを行ないます。平成20年4月施行予定をめぐし、19年11月には保険料を条例で制定する予定とされています。保険料は今まで扶養家族となつて無料だった高齢者も含め、試算によると全国平均年6万円も介護保険にプラスをして年金から天引きします。日本共産党は過酷な保険料取立てと給付切捨てだと批判しています。